八戸漁業用海岸局

事業目的

試験船、取締船並びに一般漁船との間に漁業指導監督通信を行うことにより人命、財産の保全、航行の安全、海難の防止、操業秩序の維持、諸外国規制通信の確保等による漁業生産の向上と安定を図る。

事業内容

1. 実施期間 昭和60年4月1日～昭和61年3月31日
2. 交信海域 世界全域
3. 担当者 局長 尾崎義隆
総括主任 目時利悦
主任 日下部恒雄
技師 尾崎秀秋

ほかに青森県無線利用漁業協同組合通信士 9名

4. 取扱通信種別

(1) 指導監督通信

- イ 重要通信
- ロ 保安通信
- ハ 規制通信
- ニ 非常通信
- ホ 漁撈指導監督通信
- ヘ 気象通信
- ト 周知通信
- チ 漁海況通信

(2) 漁業通信

(3) 公衆通信

5. 通信方式

- (1) 無線電話 20周波数
無線電信 10周波数
超短波 5周波数
- (2) 遭難周波数常時無休聴守
電信 2091 KHz
電話 2182 KHz
超短波 27524 KHz

- (3) 青森・八戸電話局直通ファックス送受信
 (4) 通信所、送信所間端局パルスリモート、コントロール

事業実施状況

1. 日ソ地先沖合漁業協定締結に伴う入出域通報・漁獲通報を国際テレックスによりソ連漁業省、(ダリルイバ)と連絡し、200海里内操業秩序の維持に寄与した。
2. “ウオダス”漁海況速報・イカ資源調査・水温等の迅速なる情報収集及び諸放送により漁海況予報事業の円滑化と資源究明に大きく寄与した。
3. 気象、航行警報等の即時及び定時放送により周知通信の充実を図り海難防止に寄与した。
4. 無線設備等整備事業(青森県統合局)の推進により漁船漁業経営の発展に寄与した。

表1 取扱通信実績

区 分 種 別		通 数 (件数)	時 間 (分)	1 日 平 均		備 考
				通 数(件)	時 間(分)	
漁通 業信	送 信	10,815	—	29.6	—	
	受 信	113,641	—	311.3	—	
小 計		124,456	71,075	340.9	194.7	
指 導 通 信	指 導 監 督	76,215	84,905	208.8	232.6	
	漁 況 放 送	365	6,897	1.0	18.9	
	気 象 通 信	3,433	6,874	9.4	18.8	
小 計		80,013	98,676	219.2	270.3	
事 故	事 故 通 信	56	3,216	0.2	8.8	
小 計		56	3,216	0.2	8.8	
公通 衆信	送 信	5,795	—	15.9	—	
	受 信	3,296	—	9.0	—	
小 計		9,091	15,622	24.9	42.8	
総 計 (A)		213,616	188,589	585.2	516.6	
前 年 度 計 (B)		194,885	199,325	534.0	546.2	
(A) / (B)		109.6%	94.6%	109.6%	94.6%	